

令和5年4月

## 「南多摩8期 卒業を祝う会」(保護者有志)を終えて

南多摩8期生保護者有志

南多摩PTA前会長 石井真一

今年は早咲きの桜がコロナ禍を包み込み、4月前には桜吹雪として明るい季節を導いてきた、そんな思いがいたします。

あかね会の皆様におかれましては、困難な世情にあっても、変わらず南多摩の生徒たち、教育活動にご支援や御見守りを賜り、深く御礼申し上げます。

先日3月14日(火)、第8回卒業式において、8期生は南多摩の学び舎を卒業し、それぞれの未来へ向かってたくましく飛び立ちました。新型コロナウイルス感染症との向き合いが、3年間すべてに影響した後期生の日々でございました。

卒業式には、あかね会より小林幹彦様ご来賓として、力強いエールを祝辞としてお贈りいただいたことが、この上ない喜びと勇気づけとなりました。心から感謝申し上げます。

卒業式後には、東京たま未来メッセを会場に8期生保護者有志による「卒業を祝う会」を行いました。後期3年間いろいろ思うように取り組めなかった日々を少しでも補い、良い卒業の思い出となるように、有志一同工夫いたしました。6年間を振り返る動画鑑賞やお世話になった先生方からのメッセージを頂戴するなど、8期卒業生、保護者一同で2時間程の会を共に過ごしました。祝う会の最後にはマスクを外して集合写真を撮影いたしました。

前代未聞の世界的なコロナ禍に翻弄された青春時代となりましたが、それすらも戦災をくぐり抜けた南多摩のオオクスノキのごとく、これからの人生でおおらかな力としてくれることと願っております。

あかね会と共に、南多摩の歴史がこれからも心あたたかで力強く、継承されていくことを祈念しております。

